



水産情報速報版

H24. 4. 6. No1297
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

4. 日頃の実践活動の取り組みを発表 ー全国青年女性漁業者交流大会ー

3月1・2日の両日、東京グランドアーク半蔵門において第17回全国青年・女性漁業者交流大会が開催され、本県代表の沼津市漁協青壮年部連絡協議会及び御前崎漁協女性部が日頃の実践活動の取り組みを発表しました。当日は全国から40のグループが参加し、5つの分科会（①資源管理・増殖 ②漁業経営改善 ③流通・消費拡大 ④地域活性化 ⑤多面的機能・環境保全）に分かれ、1日目に発表と討論、2日目に各部門講評・全体意見交換と表彰式が行われました。本県代表の沼津市漁協青壮年部連絡協議会は第1分科会に属し「マダイの群よ ふたたび！一魚が棲みよい海をめざして」と題してマダイ資源増大への取り組み実践について発表し、JF全国女性連・JF全国漁青連会長賞を受賞、また、御前崎漁協女性部は第3分科会で「岬っ子おさかな大好き大作戦～子供に伝えよう 御前崎の漁業と魚～」と題して、親子料理教室の取り組みなどについて発表し、魚食普及に努めた成果が評価され、農林中央金庫理事長賞を受賞しました。

5. 燃油セーフティーネット 23年度3回目の補てん発動

漁業用燃油価格安定対策事業に係る23年度第4四半期（1～3月）の平均原油価格が58,186.6円となり、補てん金の発動となるライン（直前2年間の平均原油価格×1.15＝55,508.5円）を上回り、補てん単価2,670円/kgが承認され次第、各契約者に補てん金が支払われる予定です。23年度は、第1、第2四半期に続いて3回目の補てんとなり、コスト高による漁業経営の圧迫に対し、加入契約者にとっては一定の軽減効果が得られています。

6. 本会 人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。（カッコ内は旧役職）
◇異動 4月1日付 ▽総務部長 鈴木 博（総務部長心得） ▽販売部長 渡辺克己（販売部長心得兼販売課長） ▽経理課長 上嶋永昭（焼津事業所長） ▽焼津事業所長心得 藤澤俊也（あさり出荷センター所長心得） ▽販売課長心得 牛島秀和（販売課長代理） ▽総務課主任 平尾敬義（総務課長代理） ▽焼津事業所主任 岩ヶ谷寿保（経理課長） ▽沼津事業所主任 村松 豊（静岡事業所主任兼所長事務取扱） ▽焼津事業所主任 大石 衛（石油課担当主任兼資材課） ▽静岡事業所主任兼所長事務取扱 森下 謙（販売課担当主任） ▽あさり出荷センター主任兼所長事務取扱 鈴木秀幸（あさり出荷センター二枚貝担当主任） ▽石油課兼資材課 塚原善樹（焼津事業所） ▽販売課 田中 守（沼津事業所） ▽経理課 鈴木康高（静岡事業所） ▽静岡事業所 白田吉昭（販売課）
◇新規採用 4月1日付 ▽指導部参与兼指導部長＜嘱託＞ 村松高明 ▽あさり出荷センター 高橋正典 ▽沼津事業所 前田健太郎 ▽経理課 望月美咲 ▽石油課清水給油所＜嘱託＞ 八重田達
◇退職 3月30日付 ▽市川伸一郎（焼津事業所＜嘱託＞） ▽加藤静夫（沼津事業所＜嘱託＞） 3月31日付 ▽安井 港（指導部参与兼指導部長＜嘱託＞） ▽松永 修（石油課清水給油所＜嘱託＞） ▽深澤直美（沼津事業所＜嘱託＞） ▽岡 久子（資材課＜嘱託＞）

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう

1. 新たな水産基本計画が閣議決定

水産基本計画は、「水産基本法（平成13年法律第89号）第11条」の規定に基づき、水産物の安定供給の確保及び水産物の健全な発展に向け、水産に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定するものであり、おおむね5年ごとに見直すこととされています。

このため、平成24年3月23日に水産基本計画の変更について閣議決定がされました。

新たな水産基本計画のポイントは以下のとおりです。

◇「復興基本方針」「水産復興マスタープラン」等で示し実施してきた水産復興の方針を改めて基本計画上、位置付け ◇平成23年度から実施している資源管理・漁業所得補償対策を、基本計画上、中核施策として明記。加入率9割を10年後目標として位置付け

◇加工・流通・消費に関し、6次産業化の取組の加速、HACCP等衛生管理の高度化、水産物流通ルートが多様化、魚食普及、輸出促進等を推進 ◇安全な漁村づくりと水産物・漁村の多面的機能の発揮に向けた施策や漁船漁業の安全対策を強化 ◇漁村女性の活動を促進

◇これらの施策によって、平成34年の生産を449万トンに回復させるとともに、減少傾向にある消費については、現状水準まで引き上げることを目指すこととし、自給率目標を70%（食用魚介類）に設定 なお、詳細は水産庁のホームページ下記アドレスにてご覧ください。

http://www.jfa.maff.go.jp/j/policy/kihon_keikaku/index.html

2. 県下沿海地区漁協 組合長のお知らせ

3月に総（代）会を開催した沿海地区漁協のうち、任期満了による役員改選等を行い、漁協の代表理事組合長が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

漁協名	代表理事組合長	漁協名	代表理事組合長
初 島	新 藤 康 晴 (再)	焼 津	伊 藤 優 (新)
伊 豆	佐 藤 泰 一 (再)	地 頭 方	石 津 敏 夫 (再)
戸 田	荒 川 邦 夫 (再)	遠 州	安 井 洋 一 (再)
清 水	宮城島 昌 典 (再)	() 内は、新任・再任の別	

3. 2012年度 漁協運動功労者 31人決まる 本県は外山廣文氏(田子の浦漁協長)が受賞

JF全漁連では、3月7日開催の2011年度第7回理事会で、全国のJF漁連・JF県信漁連等が推薦した合計31人を、2012年度（第27回）の漁協運動功労者として決定しました。

本県からは漁協運動功労者として、先に本会及び県信漁連から推薦した外山廣文氏（田子の浦漁協長、JF静岡漁連監事）が、多年に亘り、しらす船びき網漁業に携わり、漁協組合長の要職を勤めるほか、系統団体の役員を歴任し、地域漁業の振興と系統組織の基盤強化に尽力している功績が認められ、今回の受賞が決定しましたのでお知らせ致します。ここに受賞を心からお喜び申し上げます。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう